



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 依田 穂積
 (氏名) 宮下 浩
 TEL 0268-82-3000

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	37,945	9.7	2,054	0.7	1,971	8.2	1,444	36.3
2022年3月期第3四半期	34,576	17.7	2,040	119.6	2,147	115.0	2,269	261.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,426百万円 (52.9%) 2022年3月期第3四半期 2,894百万円 (759.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	74.08	72.47
2022年3月期第3四半期	116.34	114.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	81,648	40,483	49.2
2022年3月期	68,852	36,938	52.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 40,164百万円 2022年3月期 36,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		15.00	30.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当金15.00円 創業75周年記念配当金5.00円

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	4.7	3,000	16.4	3,100	5.4	1,900	29.1	97.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	22,272,000 株	2022年3月期	22,272,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,768,705 株	2022年3月期	2,768,705 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	19,503,295 株	2022年3月期3Q	19,503,348 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付書類2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の悪化に伴う原材料および資源価格の高騰によるインフレが継続する等の不透明な経済環境であります。わが国経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、行動制限の緩和による経済活動の回復が見込まれましたが、円安およびウクライナ情勢の悪化等を背景とした物価高から先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが所属する射出成形機業界は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調でありましたが、急激な原材料や資源価格の上昇および半導体等の部材不足を要因とした需要の低下の影響を受けました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、射出成形機の需要が低下したものの、大型機、特殊機の販売に注力したことにより販売単価が上昇したこと等から売上高合計は379億4千5百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高は291億3千8百万円（前年同四半期比7.9%増）、周辺機器売上高は14億9千5百万円（同13.5%増）、部品売上高は57億7千9百万円（同20.8%増）、金型等の売上高は15億3千1百万円（同3.6%増）となりました。

利益面につきましては、部材価格の上昇の影響等もあり営業利益は20億5千4百万円（前年同四半期比0.7%増）、為替差損（3億5千1百万円）を計上したこと等から経常利益は19億7千1百万円（同8.2%減）、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億4千4百万円（同36.3%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

① 日本

原材料価格や資源価格の上昇、半導体等の部材不足の影響がありましたが、大型機や特殊機の営業を強化したこと等から売上高（外部売上高）は117億3千2百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は29億1千1百万円（同126.9%増）となりました。

② 欧米地域

景気後退および金利上昇を受けて厳しい経営環境でありましたが、米国子会社の決算期の変更に伴う影響もあり、売上高（外部売上高）は181億8百万円（前年同四半期比44.3%増）、セグメント利益は4億5千2百万円（同15.2%増）となりました。

③ アジア地域

中国の都市封鎖による需要の停滞等から、売上高（外部売上高）は81億3百万円（前年同四半期比21.6%減）、セグメント利益は2億6千2百万円（同54.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ127億9千5百万円増加し、816億4千8百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加42億2千9百万円および商品及び製品の増加36億3千8百万円ならびに仕掛品の増加25億3千万円、原材料及び貯蔵品の増加20億9千3百万円であり、主たる減少要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少34億1百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ92億5千1百万円増加し、411億6千4百万円となりました。主たる増加要因は、短期借入金の増加70億9千7百万円および支払手形及び買掛金の増加2億1千5百万円ならびに長期借入金の増加5億8千1百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ35億4千4百万円増加し、404億8千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、本資料の開示時点において、2022年5月13日に公表した各予想値を修正しておりません。今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,781	15,011
受取手形、売掛金及び契約資産	10,606	7,204
電子記録債権	638	818
商品及び製品	9,419	13,058
仕掛品	4,413	6,944
原材料及び貯蔵品	11,672	13,766
未収入金	2,390	3,106
その他	1,380	2,366
貸倒引当金	△469	△502
流動資産合計	50,834	61,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,212	6,662
機械装置及び運搬具(純額)	1,543	1,542
土地	4,625	4,804
その他	1,015	1,777
有形固定資産合計	13,397	14,786
無形固定資産	572	531
投資その他の資産		
投資有価証券	1,939	1,967
その他	2,111	2,590
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,048	4,556
固定資産合計	18,018	19,874
資産合計	68,852	81,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,252	14,468
短期借入金	433	7,531
1年内返済予定の長期借入金	1,744	1,936
未払法人税等	742	696
引当金	332	361
その他	4,983	6,194
流動負債合計	22,489	31,189
固定負債		
長期借入金	5,869	6,450
退職給付に係る負債	3,140	3,041
その他	414	483
固定負債合計	9,424	9,975
負債合計	31,913	41,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,334	5,305
利益剰余金	25,944	26,706
自己株式	△1,539	△1,539
株主資本合計	35,102	35,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	711	729
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	607	3,585
退職給付に係る調整累計額	18	14
その他の包括利益累計額合計	1,335	4,329
新株予約権	282	322
非支配株主持分	218	△3
純資産合計	36,938	40,483
負債純資産合計	68,852	81,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	34,576	37,945
売上原価	24,034	25,891
売上総利益	10,542	12,054
販売費及び一般管理費	8,502	9,999
営業利益	2,040	2,054
営業外収益		
受取利息	30	18
受取配当金	53	81
為替差益	44	—
デリバティブ評価益	12	84
その他	152	206
営業外収益合計	293	390
営業外費用		
支払利息	128	94
為替差損	—	351
リース解約損	38	—
その他	20	28
営業外費用合計	186	474
経常利益	2,147	1,971
特別利益		
固定資産売却益	1,165	—
特別利益合計	1,165	—
特別損失		
子会社移転費用	63	—
特別退職金	20	—
特別損失合計	83	—
税金等調整前四半期純利益	3,229	1,971
法人税等	967	549
四半期純利益	2,261	1,421
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,269	1,444

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,261	1,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	223	18
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	419	2,987
退職給付に係る調整額	△13	△4
その他の包括利益合計	632	3,004
四半期包括利益	2,894	4,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,906	4,439
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	11,690	12,551	10,334	34,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,750	205	9,390	25,346
計	27,441	12,756	19,725	59,923
セグメント利益	1,283	392	573	2,249

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,249
セグメント間取引消去	△208
四半期連結損益計算書の営業利益	2,040

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	11,732	18,108	8,103	37,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,535	126	8,697	25,359
計	28,268	18,235	16,801	63,304
セグメント利益	2,911	452	262	3,627

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,627
セグメント間取引消去	△1,572
四半期連結損益計算書の営業利益	2,054

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。